

■ 2022年2月の行事案内 ■

観察会と自然復元管理作業

* 気象条件等により変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

活動日

2月5日(土) 2月20日(日) 3月5日(土)

季節を感じる観察会：10:00～12:00

自然復元管理作業：13:00～15:30

場所：旧水産試験場管理センター前集合

参加費：100円(保険料代)

持ち物：帽子・タオル・飲み物・着替え等
(動きやすく汚れても良い動きやすい服装で！)

■ NPO 法人水元ネイチャープロジェクト 入会案内 ■

みなさんも私たちと一緒に水元の自然について考え、保全活動に参加してみませんか？

NPO 法人水元ネイチャープロジェクトでは、活動の趣旨に賛同いただける方の入会をお待ちしています。

＜一般会員＞ 入会金：2,000円 年会費：2,000円

一般会員は、法人の社員となります。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など、会の基本的な運営に参加していただきます。

＜賛助会員＞ 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員は、法人などの団体会員です。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など会の基本的な運営に参加していただきます。

＜どろんこ会員＞ 入会金：無料 年会費：1,000円

どろんこ会員は、サポート会員です。会の事業に参加でき、総会等に参加する必要はありません。

＜行事案内・入会に関してのお問い合わせ＞

NPO 法人水元ネイチャープロジェクト

<https://mizumoto-np.jpn.org/>

とんぼ 秋津

2022年2月号

秋津(あきつ)とは、
トンボの古い呼び名。
そして日本は昔、
「秋津島」と呼ばれていました。



＜2月＞

種名：ウストビイラガ

よしえ画

学名：Ceratonema sericeum

開張は12mmで、成虫は6～8月頃に出現する。幼虫の食餌植物はヤマモミジ、アワブキ、フサザクラ、マルバマンサク、マンサク、リョウブである。腹部を反り返らせてとまる姿勢が特徴的。イラガの仲間の幼虫には毒棘があることが多いが、ウストビイラガの幼虫にはない。

NPO 法人 水元ネイチャープロジェクト

復元ゾーンの生き物たち



＜令和4年1月観察記録（主な生物）＞

○植物：アイオオアカウキクサ、アカザ、アカツメクサ、アサザ、アメリカイヌホオズキ、イ、イヌガラシ、イヌタヌキモ、ウシハコベ、ウラボシチチコグサ、エビモ、オオアレチノギク、オオイヌノフグリ、オオジシバリ、オオバコ、オニタビラコ、オニドコロ、オニノゲシ、カタバミ、カモジクサ、カラスウリ、カラムシ、キカラスウリ、ギシギシ、キュウリグサ、クロモ、コニシキソウ、コバンソウ、コンフリー、スイセン、ススキ、スズメノカタビラ、セイタカアワダチソウ、セイバンモロコシ、セイヨウタンポポ、セリ、タネツケバナ、タンキリマメ、チガヤ、チカラシバ、ドクダミ、ナズナ、ノゲシ、ノビル、ノボロギク、ハコベ、ハハコグサ、ハルジオン、ヒナタイノコズチ、ヒメオドリコソウ、ヒメガマ、ヒメムカシヨモギ、フキ、フラサバソウ、ヘビイチゴ、ホトケノザ、マツモ、ミゾコウジュ、メマツヨイグサ、ヨシ、ヤブジラミ

○鳥類：アオサギ、アメリカヒドリガモ、ウグイス、オオバン、オナガ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、キジバト、コガモ、コゲラ、コサギ、シジュウカラ、ショウビタキ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、ツグミ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒドリガモ、ヒヨドリ、マガモ、ムクドリ、メジロ、ユリカモメ

○昆虫類：キタテハ、オオミノガ、オオカマキリ（卵塊）、コガタスズメバチ、ナナホシテントウ、アオクサカメムシ、ヨコズナサシガメ、ササコクゾウムシ

○その他：カタヤシ、モツゴ、コイ、ギンブナ、アメリカザリガニ、ホンドタヌキ（足跡）